

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 7月えんだより

7月聖句：「探しなさい。そうすれば見つかる。」 <マタイによる福音書7章7節>

梅雨らしい気候が続いています。雨の日も子どもたちにとっては心弾むひとときです。水たまりを見つけてはバシャバシャと入り、その感触や音を楽しんでいます。散歩の道中では、紫陽花が色とりどりの美しさで迎えてくれます。紫陽花の花の色は、土壌の性質によって変わると言われており、同じように見える環境の中にも、目には見えない違いがあることを感じさせてくれます。

新年度から3か月が過ぎ、子どもたちはそれぞれの歩みの中で、興味や関心を広げています。6月には、年長児が教会訪問へ、年中児がお泊まり保育を経験しました。少しずつ行動範囲がひろがり、新しい環境の中での発見や気づきが増えています。試したり、考えたり、時には思い通りにいかない経験を重ねながらも、友だちと共に過ごすことの楽しさを感じている姿が見られます。

今月の聖句は、イエスさまが語られた「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる」という言葉の一節です。ここで示されているのは、ただ願いがそのまま叶うということではなく、一人ひとりの思いに神さまが寄り添い、その人にとって最もふさわしい形で応えてくださるという約束です。

また、この教えの中には「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」という言葉もあります。自分の思いだけを満たそうとするのではなく、まず相手を思い、関わろうとする姿が大切にされています。

子どもたちの生活の中にも、「探す」姿があふれています。「これなんだろう」「やってみたい」という気持ちで手を伸ばし、関わり、見つけていきます。そして、その過程の中で、友だちの思いや違いにも少しずつ気づいていきます。自分の思いを伝えること、相手の気持ちを受けとめること、その積み重ねが、共に生きる力につながっていきます。

YMCAが大切にしている「ポジティブネット」の考え方も、こうした関わりの中にあります。一人ひとりが誰かを思い、行動することが、あたたかなつながりを生み出していきます。

日々の保育の中で、子どもたちは目には見えない大切なものにも触れています。誰かが体調を崩してお休みしているときには、「早く元気になりますように」と祈る姿があります。そのような経験を重ねながら、自分の願いだけでなく、誰かのために思いを向ける心も育まれていきます。

「探しなさい。そうすれば見つかる。」という言葉のように、これからも子どもたちが自ら関わり、見つけていく歩みを大切にしながら、共に喜び、共に生きる毎日を重ねていきたいと願っています。

年主題：「しゅイエスとともに」

年主題聖句：「主があなたと共におられる。」 (ルカによる福音書1章28節)

7月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	あれあれ／おもしろそう	あらわして／おもしろい
	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の祈りや賛美に親しむ こまめに体を清潔にしてもらい、心地よく過ごす 水、光、風ほか、さまざまな素材の感触を楽しむ 保育者の祈りや賛美の中でイエスさまを身近に感じる やりたいことをぞんぶんに楽しみ、友だちや保育者と共感する喜びを知る 水、砂、土、泥などの感触を味わい、草花に触れて遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 喜びを賛美で、感謝を祈りであらわすことでイエスさまを身近に感じる 友だちや保育者に嬉しい・楽しい・悲しい・嫌だなどの様々な気持ちを言葉や表情・態度であらわし、受けとめられる経験を重ねる 水が気持ちの良い季節に思いきり水遊びを楽しむことや、朝夕の涼しい時間を選んで木陰で遊ぶ 友だちや保育者とともに賛美や祈りの心地良さや喜びを共有する 友だちと発見する喜びを共感し伝え合い、自分たちで考えることや発見すること、試行錯誤することをおもしろいと感じる 水や砂・土・泥の感触を楽しむことや性質に関心をもち、全身を使って思いきり遊ぶ
讃美歌	どんどこどんどこ こども改106	きょうだいげんかを こども改15